

受動喫煙を防止しましょう

喫煙の健康への影響と、受動喫煙の防止に関する「おいしい空気の施設」についてお知らせします。

たばこの煙による被害

受動喫煙防止に向けて

とされています。

表1 喫煙と疾患等の因果関係

	喫煙者本人の影響	受動喫煙の影響
がん	肺、口腔・咽頭、喉頭、鼻腔・副鼻腔、食道、胃、肝臓、すい臓、膀胱、子宮頸、がん患者の二次がん罹患、無煙たばこ(喫きたばこ)による発がん	肺がん
循環器疾患	虚血性心疾患、脳卒中、腹部大動脈瘤、末梢性動脈硬化症	虚血性心疾患、脳卒中
呼吸器疾患	慢性閉塞性肺疾患(COPD)、呼吸機能低下、結核(死亡)	臭気・鼻への刺激感
その他	2型糖尿病の発症、歯周病、二コチニン依存症	小児のぜんそく、乳幼児突然死症候群(SIDS)

たばこの煙はあらゆる疾患等の危険因子となります。厚生労働省が昨年9月に公表した「喫煙の健康影響に関する検討会報告書」(以下、「たばこ白書」)では、喫煙と疾患等との因果関係が示されていました(左の表を参照)。これらの疾患は喫煙との因果関係が科学的証拠によつて十分に推定されています(左の表を参照)。受動喫煙の場合でも肺がんや虚血性心疾患、脳卒中といった疾患との関連が示されており、厚生労働省が発表した統計によると、これらの疾患が原因で死亡する受動喫煙者は国内で年間約1万5000人(交通事故死者の約4倍)に上る

「たばこ白書」の改訂は15年ぶりであり、その背景には喫煙に関する新たな科学的知見が蓄積されたことや、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて受動喫煙防止対策を強化するために喫煙の健康影響などについて普及啓発を推進する重要性が増えたことがあります。

厚生労働省が行つた「平成27年国民健康・栄養調査」によると、非喫煙者でも飲食店で約4割、職場では約3割を超える人が過去1ヶ月の間に受動喫煙をしています。また、受動喫煙防止対策を希望する場所でも飲食店が最も高くなつており、公共の施設での受動喫煙を防ぐ必要性が高まつてきています。

おいしい空気の施設 登録施設募集中

【登録方法】
登録届出書に必要事項を記入して保健所へ提出すると、審査後に登録通知とステッカーが交付されます。登録届出書は保健所で配布しているほか、保健所ホームページで見ることができます。

が条件です。
登録施設には禁煙または分煙ステッカー(下図を参照)を交付し、施設名等を小樽市保健所および北海道のホームページで紹介しています。また、飲食店については施設名等を紹介するチラシやポスターを紹介しています。また、飲食店については施設名

は、市内で禁煙または完全分煙を行つている施設のことです。対象は、飲食店、学校、病院、商店、会社の事務所、バスやタクシーの車両など多くの人が利用する施設で、禁煙または完全分煙であること

くなつており、公共の施設での受動喫煙を防ぐ必要性が高まつてきています。チラシやポスターは保健所ホームページで見ることができます。

表2 市内のおいしい空気の施設
29年7月末時点で、市内には146件の施設が登録されており、登録件数は毎年増加しています。

(単位:件)

施設区分	禁煙施設	分煙施設	合計
飲食店	56	2	58
学校等	9	1	10
医療機関・社会福祉施設・薬局等	40	1	41
体育施設・娯楽施設	1	0	1
社会・文化施設	6	0	6
小売業・サービス業等店舗	4	0	4
ホテル・旅館等の宿泊施設	0	2	2
金融機関	9	0	9
事務所・会社等	3	2	5
官公庁等	10	0	10
合計	138	8	146



◆お問い合わせは、保健所健康増進課 ☎②3110、FAX②1469へどうぞ。

